

令和3年度 基本評価調書①		所管部局	保健福祉部	所管課	医務薬務課	
施策名	薬物乱用防止対策の推進			施策コード	04081	
政策体系(中項目)	道民の命とくらしを守る安全・安心な社会づくり			政策体系コード	1(5)A	
知事公約	-	総合戦略	-	国土強靱化	-	事務事業数 2
SDGs	-			総合判定	順調	

【1 Plan】

施策目標	薬物乱用防止の啓発推進、薬物依存者の社会復帰支援や再使用の防止のため関係機関等の連携強化、野生大麻等の除去作業、麻薬等医薬品の正規ルートからの不正流出を防止等するため医療機関等の立入検査及び指導の強化。					
現状と課題	薬物乱用は国内において深刻な社会問題であり、特に大麻事犯の検挙人員は毎年増加、年齢低下の傾向にある。そのため、関係機関・団体が連携し、青少年を対象にした薬物乱用防止教室を含む各種啓発活動等を実施しているほか、野生大麻の除去及び医療機関等に対する立入検査を実施している。					
主な取組	各種施策や計画等の策定・推進管理 啓発活動、薬物乱用防止教室の実施 野生大麻・不正けし除去作業 医療機関・麻薬等取扱者への立入検査・指導					
予算額(千円)	R3	6,297	R2	6,923	R1	7,315
施策のイメージ						

＜成果指標の達成状況＞ ⇒ 3つ以外の指標は、補助指標調書に記載

指標名①	減少	件	H30年度	R1年度	R2年度	最終目標	達成率	指標判定
刑法犯認知件数	目標値		28,160	25,459	23,607	-	127.8%	A
	実績値		25,459	23,607	18,467			
設定理由	薬物事犯を含む犯罪認知件数を警察と共有するため							
分析(主な取組と成果)								
北海道警察とともに、薬物犯罪を含む刑法犯認知件数について把握することが必要と認識している。								

指標名②	増加	%	H30年度	R1年度	R2年度	最終目標	達成率	指標判定
重要犯罪の検挙率	目標値		72.8	77	79	-	113.9%	A
	実績値		88.1	86	90			
設定理由	薬物乱用が端緒となる二次犯罪として、重要犯罪の検挙率を警察と共有するため							
分析(主な取組と成果)								
北海道警察とともに、薬物乱用が端緒となる二次犯罪として重要犯罪が起きる可能性もあることから、重要犯罪の検挙率を把握することが必要と認識している。								

指標名③	維持	議会数	H30年度	R1年度	R2年度	最終目標	達成率	指標判定
薬物乱用防止啓発活動を行っている北海道薬物乱用防止指導員各地区協議会数	目標値		21	21	21	-	100%	A
	実績値		21	21	21			
設定理由	全道域で薬物乱用防止に係る啓発活動を行うため、道内21医療圏域ごとに指導員地区協議会を設置							
分析(主な取組と成果)								
全道域において薬物乱用防止に対する啓発活動を行っていくために圏域ごとに指導員を確保し、各圏域で啓発活動を行うことが重要であると認識している。								

令和3年度 基本評価調書②	施策名	薬物乱用防止対策の推進	施策コード	04081
---------------	-----	-------------	-------	-------

【2 Do&Check】

成果指標	指標名	前々年度	前年度	評価年度	評価年度目標値	指標判定
成果指標	刑法犯認知件数	25,459	23,607	18,467	23,607	A
	重要犯罪の検挙率	88.1	86	90	79	A
	薬物乱用防止啓発活動を行っている北海道薬物乱用防止指導員各地区協議会数	21	21	21	21	A
目標(指標)の達成状況	薬物乱用防止対策北海道推進本部において「薬物乱用防止対策実施要綱」「青少年薬物乱用防止対策推進方針」「野生大麻・不正けし撲滅運動方針」を書面開催にて策定した。各種啓発活動や取締等の取り組みを推進しているが、新型コロナの影響を受け、活動に支障が生じている。				指標総合判定	A
連携状況	新型コロナウイルス感染拡大防止の観点に配慮しながら、薬物乱用防止指導員とともに啓発活動の実施や、薬物乱用防止教室の開催など、連携して地域住民に対する普及啓発を推進している。				連携判定	○
緊急性優先性	新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、薬物乱用防止に係る街頭啓発の機会が減少しているが、例年同様、薬物乱用防止教室を開催している。野生大麻・不正けし撲滅運動は、北海道警察とともに野生大麻除去作業等、監視体制を強化している。				緊急性優先性判定	○
総合判定の根拠	新型コロナの影響により、街頭啓発が実施できない等、薬物乱用防止に係る各種啓発活動に支障が出ているが、啓発方法を変更する等、効果的に各種啓発活動を検討している。				総合判定(一次評価)	順調

翌年度に向けた対応方針	対応方針番号	内容
	①	新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、街頭等の啓発活動が実施できない等、薬物乱用防止に係る各種啓発活動に支障が出ているが、啓発方法を変更する等、効果的に各種啓発活動を実施する。

〈二次政策評価〉

前年度二次評価意見	新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、施策の目標達成に向け事業内容を精査すること。	対応状況(R3.3時点)	若年層の大麻事犯が増加するなど違法薬物の問題は後を絶たないことから、感染防止対策を講じつつ、薬物乱用防止対策の推進に引き続き取り組んでいく。
R3年度二次政策評価			

【3 Action】

二次政策評価への対応	
R4施策の方向性	若年層の大麻事犯が増加するなど違法薬物の問題は後を絶たないことから、薬物乱用防止対策の推進は、重要であり、引き続き、感染防止対策を講じつつ、街頭啓発とオンラインによる啓発を併せて取り組んでいく。

令和3年度 補助指標調書①	施策名	薬物乱用防止対策の推進	施策コード	04081
---------------	-----	-------------	-------	-------

【成果指標の達成状況】

補助指標名①	維持	%	H29年度	H30年度	R1年度	最終目標	達成率	指標判定
麻薬取締施設への監視指導数		目標値	30	30	30	-	93.0%	B
		実績値	34.9	37.7	27.9			
設定理由	医療麻薬の正規ルートからの不正流出等を防ぐため							
分析（主な取組と成果）								
正規ルートからの不正流出を防止等するために、医療機関、薬局等の立入検査・指導を強化することが必要と認識している。								

補助指標名②			R元年度	R2年度	R3年度	最終目標	達成率	指標判定
		目標値						
		実績値						
設定理由								
分析（主な取組と成果）								

補助指標名③			R元年度	R2年度	R3年度	最終目標	達成率	指標判定
		目標値						
		実績値						
設定理由								
分析（主な取組と成果）								

補助指標名④			R元年度	R2年度	R3年度	最終目標	達成率	指標判定
		目標値						
		実績値						
設定理由								
分析（主な取組と成果）								

補助指標名⑤			R元年度	R2年度	R3年度	最終目標	達成率	指標判定
		目標値						
		実績値						
設定理由								
分析（主な取組と成果）								

